

都道府県名：京都府 団体名：京都河川美化団体連合会 きょうとかせんびかだんたいれんごうかい

地 域

京都は、平安建都以来、川や運河を利用した舟運の発達がまちづくりの基礎を築き、川の流れや豊富な水が京の文化を育んできました。一方、再々洪水に見舞われ、市民が川との戦いを治めてきた歴史もあります。いつの時代も京都は水と関わり、水を恐れ、その恵みに感謝し、水と共に栄えてきました。そして今日京都は日本人の心のふるさととして、三方を山々にかこまれ清らかな水の流れが山紫水明の豊かな自然環境と水辺環境をつくり出し、人々のこころを癒し、和ませています。

経 緯

昭和47年、京都市内の各河川で活動する多くの市民団体25団体が結集し「京都河川美化団体連合会」を結成しました。もとより、京都の川のすばらしい水辺環境こそ京都市民にとって大きな誇りであり、水の恵みに感謝し、下流の地域に対してもきれいな水を使っていたらこうとの思いを込め、よりよい環境を次の世代に引き継ぐための活動に取り組んでいます。今日、社会や生活の変化と共に河川の美化、地球の温暖化防止、小水力発電等々自然環境にやさしい保全と再生をめざし、多くの生きものと共生できる自然豊かな環境を次の世代を担う「子どもたちに美しい川を残そう」「自分たちの地域は自分達の手で守ろう」を合言葉に、美化を中心に当連合会の各団体が一丸となって取り組んでいます。

功績内容

昭和47年から生命を育む清らかな自然を守り、健康で潤いのある環境づくりを進めるため、桂川、鴨川、白川等12河川を活動フィールドに年間を通じて国民の最も重要な水資源である河川美化啓発活動に取り組んでいます。

- (4月)河川美化強調月間 (9月～11月)身近な実践活動、清掃活動
- (6月)環境月間、清掃活動 (12月～2月)京都環境フェスティバルへの参加、クリーン大作戦展開
- (7月)河川愛護月間 (その他) 河川パトロール、行政との懇談会、河川美化啓発看板設置



子どもたちに美しい川をのこそう



嵐山渡月橋上流一の井堰小水力発電
勉強会



桂川クリーン大作戦(2019)団体、34
00人参加の美化活動)